

令和8年度 厚木市障害者協議会 第1回 実務者会議

日 時	令和8年6月18日（木）午後2時から午後3時半まで
場 所	アミューあつぎ amy studio
出席者	○委員 厚木医師会 神奈川県精神科病院協会 厚木市身体障害者福祉協会 厚木市手をつなぐ育成会 厚木市自閉症児・者親の会 精神保健福祉促進会フレッシュ厚木 厚木地区知的障害施設連絡会 厚木市障害者福祉事業所連絡会 厚木市・愛川町・清川村地域精神保健福祉団体連絡会 厚木市居宅介護事業所連絡会 社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団七沢自立支援ホーム 厚木市民生委員児童委員協議会 厚木市児童発達支援センターひよこ園 相談支援事業所連絡会 厚木市地域包括支援センター 厚木市教育委員会 特別支援学校 障害者就業・生活支援センター ぽむ 厚木児童相談所 厚木保健福祉事務所 厚木市社会福祉協議会 厚木市地域包括ケア推進課 厚木市障がい福祉課 ○事務局 厚木市障がい福祉課 厚木市障がい者基幹相談支援センターゆいはあと 厚木市障がい者福祉計画（第8期）策定業務委託業者

1 開会

- (1) 厚木市障がい福祉課長より 挨拶
- (2) 新委員紹介
- (3) 議長、副議長選出

司会（事務局：厚木市障がい者基幹相談支援センター）⇒進行：議長
議事進行 議長 相談支援事業所連絡会

○議長

昨年度から引き続きになります、相談支援事業所連絡会として参加しております、所属は睦合南障がい者相談支援センターさんぽみちです。今年度につきましては、第8期の障がい者福祉計画の策定に向けて、最後の年度になります。今回、実務者会議の開催が5回と例年より多くなっております。新年度になってから、福祉制度や医療の報酬改定などもありました。少しずつですが、今まで上げてきた課題に影響が出ている、変わってきている印象があります。実務者会議が例年より多くありますが、私は声を上げる機会が増えたと前向きに考えております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

では次第に沿って進めさせていただきます。議題(1) 日中サービス支援型共同生活援助事業所の開設について、事務局よろしくお願いします。

2 議題

- (1) 日中サービス支援型共同生活援助事業所の開設について

資料1 参照

○株式会社 lien 報告

～質疑応答～

○厚木市自閉症児・者親の会

現在ハーモニー下荻野を運営していて、日中サービスの中での活動は大きく変わらないと思いますが、ハーモニー下荻野で行っているレクリエーション活動や作業は具体的にどんなことを行っているのかお伺いします。

もう一点、地域連携推進会議をハーモニー下荻野でも実施しているのか、地域連携推進会議をハーモニー山際でも行う予定があるとしたらどのような内容、計画があるのかお伺いします。

○株式会社 lien

1点目の日中活動です。身体障がい者中心の方々と、平均区分も5以上になります。皆様車椅子で、電動車いすで自走ができる方が1名、歩ける方が1名おられます。高次脳機能障がいの方もいらっしゃいます。身体障がいのみの方が、3分の1名程度おられます。コミュニケーションが取れる方に関しては、みなで軽く体操をやったりしています。IADL的な部分で支援員、世話人はいますが、日常的なことを一緒にやっていくとか、介護保険のデイサービスや介護保険のグループホームのレクリエーション活動ではなくて、中高年の男性の集まりで行えることをやっています。複数の方については猫が好きなので、来月猫が事業所に来る予定があります。ある程度ADLの維持につながるようなことや、それぞれの方の趣味の延

長上で提供できることなど行っています。みんなでラジオ体操をやるとか、「今日は何の日でしょう」といった形の、そういったレクリエーションではなくて、もう少し生活に踏み込んだ部分、日常に近いレクリエーションを行っています。また定期的に地域の方をお呼びして、少し音を静かにして音楽会を季節ごとに行っています。そのような活動で理解いただければと思います。ハーモニー山際は、女性の精神・知的の方になりますので、また別のプログラムにはなと思います。

○厚木市自閉症児・者親の会

ある程度 ADL を維持するような活動をしていることはわかりました。今回のハーモニー山際は、精神・知的の方を対象にすることなので、ADL というより余暇的なものが必要になるかもしれないと思いました。

○株式会社 lien

地域連携推進会議に関しましては、神奈川県庁に確認しましたが、前年度に関しては当事業者のグループホーム開設が 12 月でしたので、実施しなくても大丈夫とのことで、実施しておりません。開始当初の 12 月と、翌年の 3 月に地域交流のイベントを実施しました。今年度は事業所の年度計画で、12 月に地域連携推進会議の予定があります。弊社の他市で行っている地域連携推進会議は、有識者の方、地域の方、福祉関係の方が参加しております。ガイドラインに載っている自治会の方や民生委員の方、福祉系有識者の方、地域のカラーに合わせた形で参加していただき、今年度 12 月に実施できたらと考えております。

○厚木市自閉症児・者親の会

地域連携推進会議は、委員を集めるのが大変だと聞きます。私も委員になり、昨年 12 月に会議がありました。地域の民生委員さんや有識者の方をお願いして行い、地域に理解してもらうことを目的に、ぜひ地域連携推進会議を行ってもらいたいと思います。

○厚木市地域包括ケア推進課

看護師の配置や、在宅支援診療所が入り連携を取っていくとなっているが、利用者の体調不良時の緊急性の判断はどなたがされるのかを教えていただければと思います。

○株式会社 lien

現状のハーモニー下荻野をベースにお伝えいたします。管理者が、早番や遅番で入っております。看護師を管理者として申請した場合は、看護師の配置ができないのがルールとなっております。逆にその管理者が看護師の資格を持っていて、日中、夜間帯、サビ管と一緒に緊急対応時にまずは管理者、その次はサビ管、その 2 人が出なかった場合、私が本部に所属していますので本部に連絡が入る形です。私たちの連絡はそういった流れですが、まずは在宅支援診療所にすぐ連絡を入れることがファーストタッチです。在宅支援診療所のファーストタッチが医師なのか看護師なのかにもよりますが、社内連携、社内共有を進めていくことが同時進行です。ファーストタッチは主治医の連絡という形で事業所内は回っています。昼間に関しては、定期的な往診で看護師が主となって往診の対応を行う。一緒に回るような形で対応しておりますので、そこは社内共有をしています。前年度サービス管理責任者が管理者と兼任していたときよりも、管理業務とサビ管業務を分業したということ、事業所の重度身体障がい者のお客様を迎えるに際して、看護師を管理者にグループ内で移動をして着任してもらった効果が出始めていると思います。

○事務局（厚木市障がい者基幹相談支援センター）

1か月の家賃は、どのくらいで設定をしていますか。

○株式会社 lien

厚木市や神奈川県との話はありますが、ハーモニー下荻野が月額の家賃が70,000円です。生活保護の方は住宅扶助費の41,000円です。ハーモニー山際に関しましても、ハーモニー下荻野と同額と考えております。生活保護の方に関しても同じで考えております。

○議長

緊急時の受け入れで、おそらく開所してからでないといけない部分はあると思いますが、精神障がいのある方の緊急の時、病状が悪くなってという時は病院にお願いするしかないんですが、そうでない場合、家族に何かあったという場合の受入はいかがでしょうか。昨年あったのが、住んでるアパートが老朽化して水漏れはするが、大家さんが直してくれない。週末緊急避難的に移れる場所がどこかないのか、という相談がありました。結果的には受診されている病院が持っているグループホームが受けてくれるとなり、利用にはならなかったケースがありました。そういったことが起きた時受け入れていただくとありがたいと思いました。

○株式会社 lien

緊急体制にも対応できるような形で、ハーモニー山際に関しましては、夜勤者を3人配置したい考えがあります。緊急受入以外でも、利用者に何かあった時に動ける部分、例えば、緊急対応の受入も夜勤者が3人いれば、夜間帯の有事の時にも3人スタッフがいて、うち1人が看護師ということで、在宅の先生と夜間のやりとりができます。また、精神障がいの方を緊急で受ける場合、実績例ですと、夜間帯での服薬状況や病状が比較的变化していく方を多く経験してきてます。通常の夜間帯の体制を質の濃いものにするには、スタートの段階から重要視していかなければいけないと考えております。緊急対応も例外ではないと思います。

○事務局（厚木市障がい福祉課）

重度知的障がい者、重度精神障がい者が入居と考えると、収入が年金や手当しかないと思います。そうすると、家賃が70,000円で、そこに光熱水費、日用品、余暇で使ったり、趣味で使ったりするお金が加わると、かなり厳しいと思います。日中サービス支援型は、入所施設や入院からの地域移行の受け皿になることが国でも想定されているので、金額設定を再考いただけるとありがたいです。

緊急体制につきましては、短期入所用の部屋が2か所併設されておりますので、できれば厚木市の地域生活支援拠点にご協力いただければと思います。

○株式会社 lien

家賃の件に関しては、社内で共有させていただきます。

地域生活支援拠点に関しては、喜んでやらさせていただきます。

○議長

お金、大事ですね。

○株式会社 lien

私の一存では決めかねます。私自身も福祉現場を 25 年やってきましたので、気持ちは非常にわかります。経営者に伝えたいと思います。

○特別支援学校

厚木市に、在住の生徒の日中の活動先が現在少なくなっています。保護者の方が、卒業後すぐにグループホームに入居したり、入居を検討したりする方がおられます。資料のその他欄に、経管栄養の方や難病の方の受け入れに関して記載があります。こちらは、定時のケアであれば受けられるという認識でよろしいでしょうか。随時ケアが必要だったり、呼吸器が必要だったり、吸引が必要だったりする方は少し難しいと言う捉えでよいでしょうか。

○株式会社 lien

うちの川崎のグループホームで、開所当初から入られた 20 歳代前半の方が 1 日 2 回、日中経管栄養を行っています。夜間帯は、なるべくスタッフが喀痰吸引資格の 1 号、2 号を取っている者を配置しています。定期的な訪問看護も来ています。在宅支援診療所の先生と連携を図っていました。しかし、ADL の低下があり、入院され、先月戻られてきました。ほぼ 2 時間おきの痰吸引が必要になりました。現在取組み中で、下荻野の管理者の看護師も、学ぶためにそのグループホームに行っています。医療連携で在宅支援診療所の先生と訪問看護の指示書がどれぐらい出していただけるか、特別訪問看護指示書も含めてです。今の質問ですと、入居された際に、その後何十年生活をする責任もある上で、受け入れをさせていただいています。入居時は朝夕の経管栄養と、医療区分一には該当しないような吸引回数で対応できる形で受けるかもしれません。その後の変化で、療養病床に行けるか行けないとか、今病床数も減ってますし。もちろん在宅には戻れないという中で、医療連携が全てなのかと思います。下荻野にいる看護師は准看護師ですが、夜間 1 人看護師が定期的に入ってもらう取組を始めました。山際でやらせていただけたらとなった際には、夜勤の 3 人目は看護師がいいというのは、緊急の受入もそうですが、医療処置の部分で質のよいサービスが提供できるのではないかと思います。吸引や経管栄養に関しましては、申込みの段階では、主治医や計画相談の方の見立ての中で、日中サービス支援型のグループホームで大丈夫だろうということでスタートすると思います。そこから長いお付き合いの中で、どこまで対応していけるかは事業所努力として高めていきたいと思っております。下荻野よりも前に開所しているところが時期を重ねていくと状況変化があるので、他のグループホームや他社の状況も参考にしながら、事業所運営を進めていけたらと思っております。ちょうどそういう方が他市でおられたので、今取組んでいるところです。

(2) 厚木市障がい者福祉計画（第 8 期）骨子案について

資料 2-1 から 2-3 参照

～質疑応答～

○精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

計画の基本理念と基本目標に『障がい』が入っていないことは、私はいいなと思います。施策の方向で、7 期は 12 項目あり、8 期の新計画も 12 項目ある。12 項目は決まっていることなのではないでしょうか。12 項目の中で調整していくことなのではないでしょうか。

7 期の 9 番「健康・医療の充実」に「障がいの原因となる疾病や重度化の予防」が入って

います。これは、大事なのではないかと思います。7期の12番、「地域における人材等の養成」の「身近な支援者が増えている」というのが、目指す姿としてあったのがなくなっている。支援を受ける側の家族としてはここがなくなるのは心配です。人材は大丈夫だからという感じなんでしょうか。そこが気になりました。9番「健康・医療の充実」が7番「居住支援の充実」に入るという話だったと思います。予防に関しては、居住支援とは少し違う感覚があります。そこがなぜなのかというところです。今、精神障がい者は増えていると聞いています。毎年、精神保健福祉手帳所持者が増えていると聞いています。おそらくこれからもこの社会を見ていると、心を育てる教育というのはあまりしていないと思います。自分自身も、そういうのを受けてきていないと感じています。心の教育にそこまで力を入れているのかわかりませんが、時間の制約もあってそんなに力を入れられていないことを考えるとこれだけの状況なので、低年齢化していくし、増えていくのではないかと恐れを抱いています。精神障がいは他の障がいと比べて唯一予防ができる障がいだと思います。統合失調症だと、前駆期が5年あると言われていています。5年って結構長いと思うんですけど、その時に思春期だからと流されて、その後症状が出た時に、家族も本人も慌てるということがずっと繰り返されていると思います。予防というか、前駆期の段階で発症させないということが、唯一できる障がいだと思います。どうやったら発症させないかというと、例えば日本では無理かと思いますが、オープン・ダイアログが有効であることはよく言われています。日本ではおそらく保健の関係で無理ですが、そのようなことがあったらいいのにと家族はずっと思っています。項目の7番と9番が一緒というのは違うのではないかと思います。

○事務局（厚木市障がい福祉課）

特に12項目にする理由は全くないです。計画は読んでもらわないと意味がないので、全部設定して、それをこなすことも大事ですが、まずは読んでほしいというのがあります。

「健康・医療の充実」と「地域における人材等の養成」というのはなくなるものではないです。先ほど何度か話しましたが、移行するという形で、なるべくまとめていくことが1つのコンセプトです。居住支援の中に、現行の計画でも「地域生活支援拠点」や「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」が入っています。名前の通り、居住支援も入っています。うまくまとめられて、居住支援の充実以外の言葉で表すことができれば、今の話にも対応できるのかと思いますので検討したいと考えております。

「心を育てる教育」は、現行の案ではユニバーサルデザインに「こころのバリアフリーの推進」があります。「障がい者理解」でも「福祉教育推進事業」があります。前回の代表者会議でも話題になりました。まだ1校しか行っておらず、実績は少ないですが、学校教育のうちから障がい福祉の理解を進めていきたいこともあります。そこが両面になり、計画に盛り込む意識は持っております。皆さんの意見に対応できればいいかなと考えております。次の素案の中で示していければと考えております。

○厚木市障害者福祉事業所連絡会

この計画はとてもボリュームがあると思います。9ページと10ページに「課題と視点」とまとめてあります。今回は大きな理念や方向性だと思います。少してこ入れが必要だというのが、この辺にまとめられているという理解でよろしいでしょうか。例えば、9ページと10ページでリンクしているのが、ワードとしては「障がい者理解」とか「セルフプラン」とか「強度行動障がい」とか「移動支援」とかが、右と左でリンクしているかと思います。全部の施策を考えると意見が出しづらい。この辺が主として、てこ入れしておいた方がいいのかと考えていこうという理解でよろしいのかと思いました。

○事務局（厚木市障がい福祉課）

ここは、10 ページを意識して計画を策定すると考えています。9 ページと 10 ページでリンクしていないところが唯一、9 ページの下の「地域をつなぐネットワークの構築」です。

そこは次期計画の政策の 11 で継承していけばよいと考えております。この策定方針の最中に、まだまとめきれなかった厚木市障がい福祉基礎調査の調査結果がありますので、そこも見ながら盛り込んでいきたいと考えております。

○地域包括ケア推進課

精神障がいだけではなくて、身体障がいも生活習慣病を予防すれば防げるものがあると思います。施策のどこかに予防は入れていただければと思います。生産年齢、人口がこれから減っていく中で、福祉の人材の確保というのが、障がいも介護も増やしたくても増やせない。しかし利用したい人は増えていく状況がこれから何年も続くと思います。本当に専門職ではなければダメなものなのか、自助互助でどうにか対応ができるものなのか、ということを障がいの方たち、当事者にも理解をしていただく必要が今後出てくるのではないかと思います。そのような内容やそのような状況を念頭に入れて計画していただければと思います。

○事務局（厚木市障がい福祉課）

引き続き、そのあたりも考えながら計画を進めていきたいと思います。

○厚木市自閉症児・者親の会

達成された姿が見えにくいと思いました。「施策の方向 2 交流・ふれあいの推進」はユニバーサルではなくて、インクルーシブの推進というイメージがあります。学校現場で一体何ができるのかがとても曖昧で、教育委員会に、インクルーシブの実現に向けた動きをどうやったらできるようになるのか、学校現場として教えていただけませんか。

○厚木市教育委員会

厚木市教育委員会で、インクルーシブ教育の推進は今年度で 2 年目です。各学校に方針を伝えています。実際、学校現場ではインクルーシブ教育とは通常の学級があり、それに伴ってリソースルームがあります。障がいのある子が特別支援学級に行ったり、少し学習に心配がある子が学びの教室という別の教室行ったり、日本語が難しい子が国際教室に行ったり、力を蓄える場所があります。あまりクローズアップしてしまうと分離教育となりますので、最終的にそこで力をつけて、通常の学級に戻る。自分の所属するクラスで、みんなと一緒に学んでいくことを打ち出して、各学校には発出しています。先生方にもインクルーシブを私たちから発信しながら、理念のところからまず伝えています。

○厚木市自閉症児・者親の会

小さいお子さん持つ保護者が言うのが、先生が障がいを理解してくれない。クラスルームで時には阻害されてしまう。クラスルームの子の理解があるから、支援級から通常級にいつでも、そのクラスで過ごせるとか、様々な声がありますが、インクルーシブ教育という言い方が適切なのかどうか世の中的に疑問もあります。学校現場で、リソースルームで力を蓄えて通常級に戻るのには、やはり周りの教員の方たちが理解してもらわないと、リソースルームで蓄えられて通常級に戻ってみんなとうまくやれない。クラスの学習についていけないことがあると思います。

○厚木市教育委員会

先生方もそうですし、通常級のこどもたち全員が例えば、障がいがある子が自分のクラスに来た時に、グループワークをするのに話に入れないからあなたは入らないで、ではなくて、こどもたちみんながどうしたら全員で話し合えるかを考えて声をかけていく。そのような教育ができることがインクルーシブだと思っています。もちろん、先生方、それからこどもたち、みんなが何をすべきかということを知ることが大事だと思います。

○厚木市自閉症児・者親の会

それを障がい者計画の「達成された姿」の中に入れてほしい。そこを前提として、学校教育の現場の中で、どんな人もみんな一緒、障がいがあっても平気だということをラインに乗せてほしいと思います。

○厚木市教育委員会

学校現場で、福祉教育はどの学校でもやっています。車椅子を体験したり、目が見えない方の体験をしたりしながらこどもたちが考えていくことが、とても大事だと思っています。小学校でも、特別活動の時間を使ってやっています。やはり、目に見えない障がいの部分になかなか先生も含めてまだ理解が進んでない。どうしたらいいのかということがあります。教育指導課でインクルーシブ教育推進部会があり、各学校の先生方1名ずつ参加し、どんな風にインクルーシブ教育を考えていくかを行っています。そこから発信していくことをまず力を入れてやっているところを知っていただきたいです。私たちもできる限り発信して、先生方に知らせていきたい。先生方がやっていることが実はインクルーシブだと気づいていないことがある。そのような意識づけをしていきたいと思っています。

○厚木市自閉症児・者親の会

目に見えない障がいの理解ということですね。ここではうまくいっても、学校現場がこれからどうなっていくのか、だと思います。

○事務局（厚木市障がい福祉課）

「達成された姿」ですが、課内でもいろいろ意見があります。究極的ではないかという話があります。そもそも3か年計画で他の福祉計画とも、どのレベルで変えていくかを合わせていかないといけないと思います。我々は協議会の場があります。もし委員の皆さんの中でこういったところが目指すところだという話があれば、次回の協議会でも、この「達成された姿」は出しますので、そこでまた意見をいただいて、やはり目指す必要があるとなれば、記載をしていこうと思います。

○議長

第8期、9期と続いていくものですので、声を上げていくことは大事だと思います。議題(2)については終了いたします。

次に議題(3) 令和8年度におけるプロジェクトについて、事務局お願いします。

(3) 令和8年度におけるプロジェクトについて

資料3参照

～質疑応答～

○厚木市自閉症児・者親の会

就労支援プロジェクトの、当事者フリートークの動画は私たちも見られるのでしょうか。
どこかアクセスすると見られるのでしょうか。

○事務局（厚木市障がい者基幹相談支援センター）

当初は、作成した動画を市のホームページに載せてもらう予定でした。しかし、出来上がったものの容量が大きくて、載せるのが難しいと言われました。DVD 等違う形にして見られるようにしていきたいと考えています。

○厚木市自閉症児・者親の会

うちの会員の学齢期の親御さんが見たいと言えば見られるのかと思いました。

○議長

これから始まるプロジェクトや、すでに開催されているプロジェクトがあるかと思います。
今後、プロジェクトの中間報告等もあると思います。

それでは議題(3)は終了いたします。議題(4)その他に移ります。

(4) その他

- ・県央圏域就労移行支援事業所 合同説明会

令和8年8月28日(金)14時から16時 大和市文化創造拠点シリウス
芸術文化ホール サブホール

- ・厚木市自閉症児・者親の会主催講演会 「ライフスキルを視覚化する」

令和8年8月31日(月)10時から12時半 アミューあつぎ あつぎ市民交流プラザ610

○議長

すべての議題が終了いたしましたので、これで議長をおろさせていただきます。

進行：議長⇒司会（事務局：厚木市障がい者基幹相談支援センター）

3 閉 会

副議長厚木市社会福祉協議会より挨拶

以 上